

2011年景気への懸念材料は 原油・原材料等の価格上昇と震災の影響

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の173社。2位が「原材料価格の上昇」の65社。「ニーズの変化への対応」が56社で3位。
- ★ 「『地場企業の支援・育成？』で有効だと思われる施策は？（2つ選択）」という問いに対し、1位が「公共工事予算の拡大と入札制度の改善」の72社。2位が「大規模製造工場の誘致」で54社。3位が「事業資金融資」と「商店街活性化支援」の41社で同数。
- ★ 「現在の雇用人員」について、79.4%（173社）が「適正」と回答。「不足」が11.5%（25社）で、「過剰」の9.2%（20社）を若干上回った結果となった。

平成23年1～3月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成23年3月に実施した第84回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が84回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は233社（小売業64社、卸売業33社、製造業35社、建設業55社、運輸・交通業13社、観光・サービス業33社）で回収率は46.6%。

【概況】

今期（1～3月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲37.2と、3ヶ月前の前回調査▲16.0から21.2ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.3%、「やや好転」が14.3%で、逆に「やや悪化」が37.7%、「かなり悪化」が15.2%だった。同様に、売上DIも25.2ポイント悪化して▲33.8。採算DIについても23.2ポイント悪化して▲44.3。原材料（商品）仕入価格は23.6から36.0と上昇傾向。

今回事業所に対し、「2011年景気への懸念材料」について尋ねたところ、「原油・原材料等の価格上昇」が44.4%（100社）と最も多く、「その他」が16.4%（37社）で続いた。調査票作成時点では、東日本大震災が発生していなかったため、「震災による影響」という項目はなかったが、「その他」のほとんどに、「震災による影響」と記されており、未曾有の大震災が今後の景気に大きく影響してくるという見方が多い。また、前回調査で聞いた「三次市が将来に向けて力を入れるべきこと」で最も多かった「地場企業の支援・育成」について、有効だと思われる施策について尋ねたところ、「公共工事予算の拡大と入札制度の改善」が72社で最多。72社の内訳を見ると、建設業が36社、それ以外の業種も36社と、直接、公共工事と係わりのない業種でも公共工事は地場企業の支援・育成に有効であるという認識を持っている結果となった。続いて多かったのが、「大規模製造工場の誘致」で54社。労働人口の増加による消費の拡大や企業間取引の機会など、波及効果が期待出来る大規模製造工場の誘致も、地場産業を支援・育成する面においては間接的ではあるが、効果があると考えられている。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

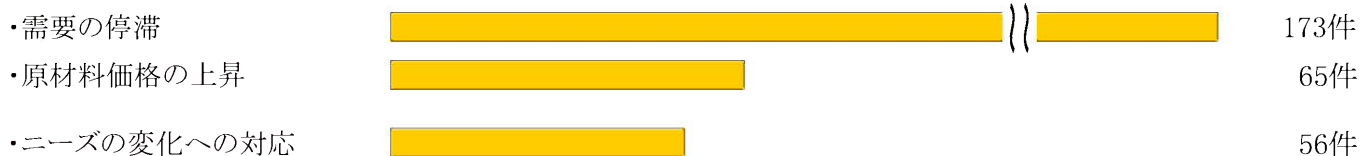
業況は、全業種合計で今期▲37.2。業種別では、運輸・交通業を除く5業種で悪化。卸売業（▲45.5）、製造業（▲42.9）、観光・サービス業（▲67.7）の3業種が特に厳しい数字となっている。

売上は、全業種合計で今期▲33.8。業種別では、業況同様、運輸・交通業を除く5業種で悪化。先行き見通しについても、▲50.9と非常に厳しい状況が続く。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期36.0。業種別では、製造業、観光・サービス業を除く4業種で上昇傾向。回答数は少ないが、運輸・交通業では90.9という高い数字に加え、減少したという回答は一つもなく、原油価格等の上昇が顕著となってきている。

採算は、全業種合計で今期▲44.3。業種別にみても、すべての業種で悪化。悪化した一番の理由は「売上の減少」。「売上原価（仕入・原材料費）の上昇」が続き、3番目が「売上単価の低下」と、この3項目で約9割を占める。

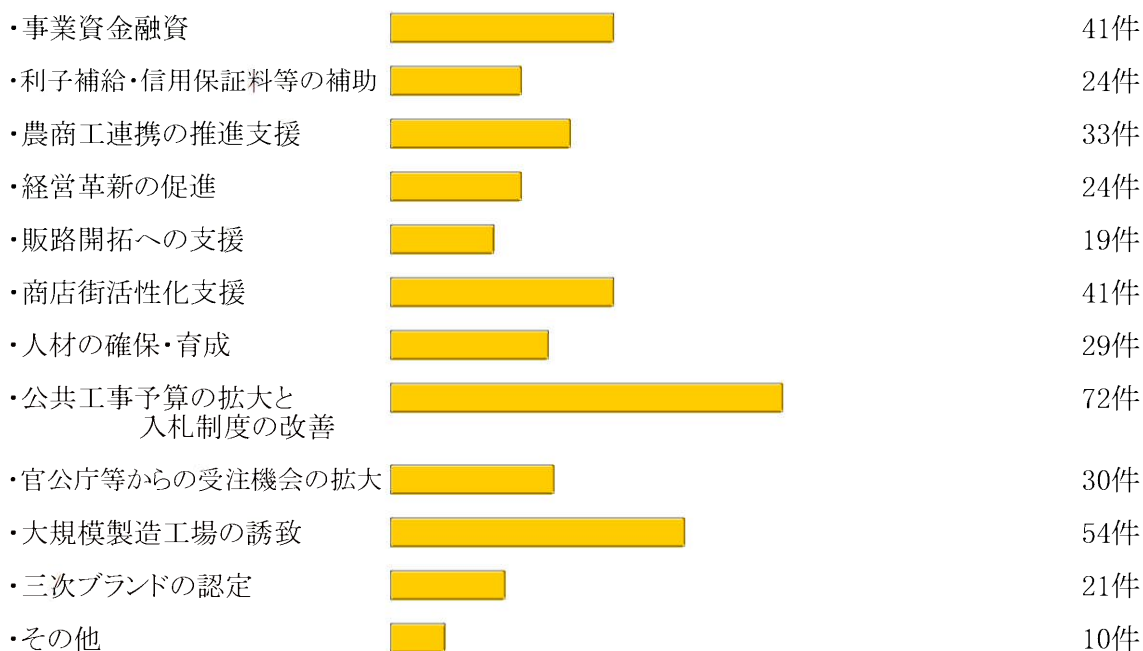
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



【2011年景気への懸念材料は？】(上位三項目)



【前回調査でお聞きした「三次市が将来に向けて力を入れるべきこと」で、最も回答の多かった「地場企業の支援・育成」で有効だと思われる施策は？(2つ選択)】



【現在の雇用人員をどのようにお考えでしょうか？】



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 37.2	▲ 52.7
小売業	▲ 23.4	▲ 49.2
卸売業	▲ 45.5	▲ 9.1
製造業	▲ 42.9	▲ 57.6
建設業	▲ 29.1	▲ 66.7
運輸・交通	▲ 30.8	▲ 53.8
サービス業	▲ 67.7	▲ 76.7

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 33.8	▲ 50.9
小売業	▲ 25.4	▲ 41.0
卸売業	▲ 36.4	▲ 3.0
製造業	▲ 42.9	▲ 60.6
建設業	▲ 23.6	▲ 66.0
運輸・交通	▲ 15.4	▲ 76.9
サービス業	▲ 62.5	▲ 80.6

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

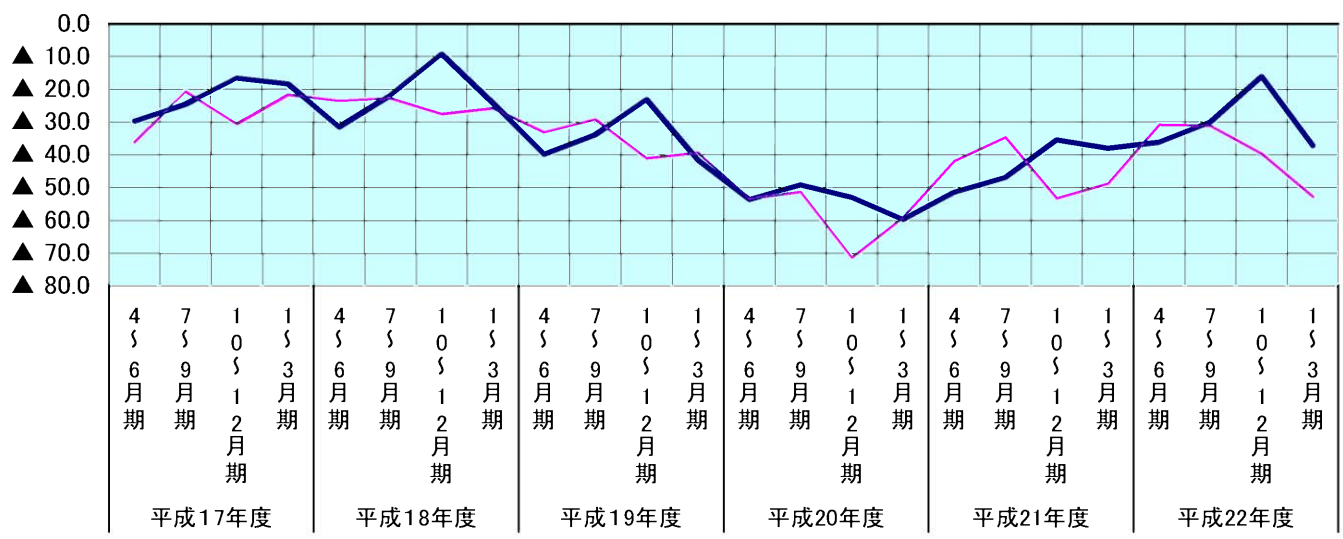
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 44.3	▲ 58.1
小売業	▲ 44.4	▲ 54.1
卸売業	▲ 39.4	▲ 21.9
製造業	▲ 47.1	▲ 60.6
建設業	▲ 32.7	▲ 73.6
運輸・交通	▲ 53.8	▲ 76.9
サービス業	▲ 62.5	▲ 66.7

(好転割合－悪化割合)

全業種

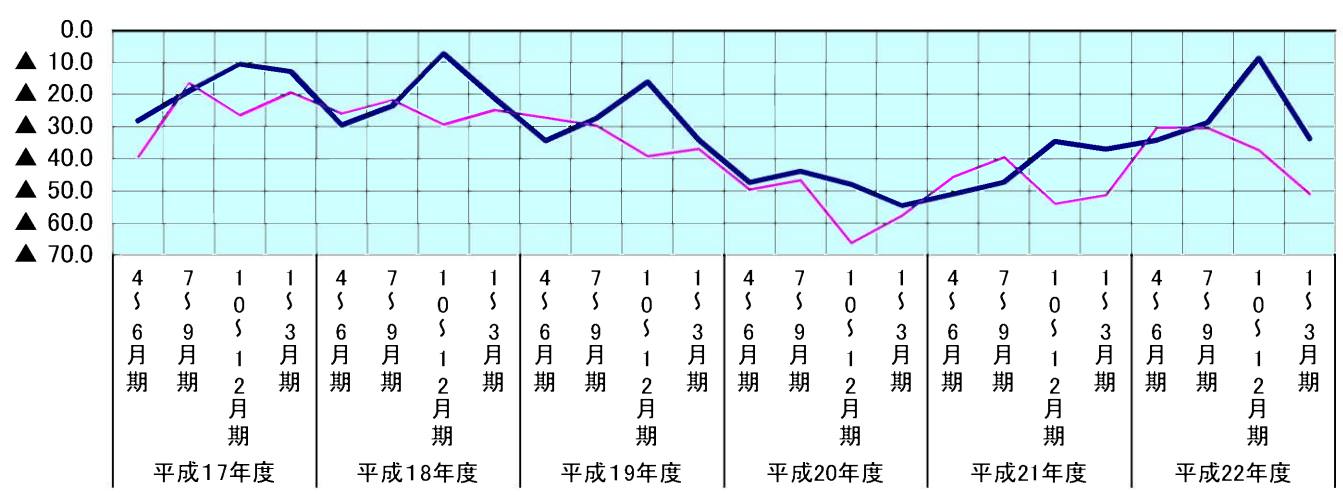
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



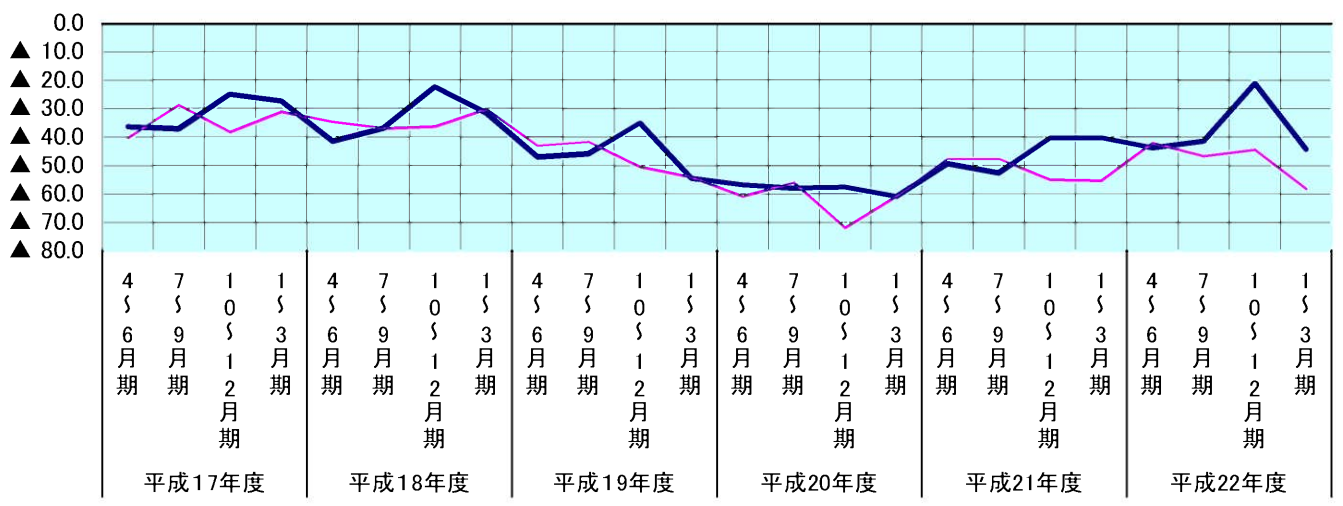
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し























採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 月 ～ 6 月 見 通 し			
卸 売 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 月 ～ 6 月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 月 ～ 6 月 見 通 し			
建 設 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 月 ～ 6 月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 月 ～ 6 月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	1 月 ～ 3 月 実 績			
	4 月 ～ 6 月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い